

平成30年度 第8回日本科学教育学会研究会（東海支部開催）プログラム

[テーマ] 習得させたい探究技能

[日時] 2019年6月22日（土） 10:00～14:20

[会場] 愛知教育大学 自然科学棟・演習棟

[日程]

9:30～10:00	受付
10:00～11:00	研究発表（午前の部前半）
11:00～11:10	休憩
11:10～12:10	研究発表（午前の部後半）
12:10～13:20	昼食（東海支部総会）
13:20～14:20	研究発表（午後の部）
14:20	終了

座長 寺田 光宏（岐阜聖徳学園大学）

A01 10:00-10:20 高次の思考力を育成するパフォーマンス課題の取り組み－物理学の探究に向けて－
○宮川 貴彦（愛知教育大学）・石田 智敬（京都大学大学院）

A02 10:20-10:40 幼児から大人までを対象としたコマ演示の実践的研究
○花木 良（岐阜大学教育学部）・伊藤 杏優・杉田 岳史・林 訓史（岐阜大学大学院）

A03 10:40-11:00 戦後日本の理科教科書における水環境に関する教材の変遷
○郡司 賀透（静岡大学学術院）

座長 中村 琢（岐阜大学）

B01 10:00-10:20 大学生による小学校での月の見え方と太陽の学習方法の検討

		○吉川 直志・宮部 彩（名古屋女子大学）
B02	10:20-10:40	地学分野における探究学習のための教材開発
		○川上 紳一（岐阜聖徳学園大学）・勝田長貴（岐阜大学）
B03	10:40-11:00	コンピテンシーの育成を重視した地学教育再構築の提案
		○荻原 彰（三重大学） 坂本 紹一（千葉県千葉市立千草台中学校）
	11:00-11:10	休憩
	座長	郡司 賀透（静岡大学学術院）
A04	11:10-11:30	授業分析手法の違いによる教師のアウェアネスの比較
		○小林 俊行（東海大学）
A05	11:30-11:50	理科教育におけるレリバンスに関する一考察
		○寺田 光宏（岐阜聖徳学園大学）・山口 健三（元岐阜聖徳学園大学）・大場 愛絵（元岐阜聖徳学園大学）
A06	11:50-12:10	高等学校における理数の探究活動と効果—中学校・高等学校の理数課題研究の取組と探究能力調査から—
		○中村 琢（岐阜大学）
	座長	荻原 彰（三重大学）
B04	11:10-11:30	生物单元における教材開発の基礎研究—児童生徒の「生き物」に対する認識に対する調査を通して—
		○古市 博之（犬山市立城東小学校・愛知教育大学大学院）・大鹿 聖公（愛知教育大学）
B05	11:30-11:50	ニワトリの骨格標本製作をとりいれた生物進化に関する探究学習：中学校での実践
		○伊藤 悠（長良中学校）・松田 義彦（双葉中学校）・川上 紳一（岐阜聖徳学園大学）
B06	11:50-12:10	中学生のバイオフィリアに関する認識の実態—「自分と他の生物とのかかわり方」を考える授業を通して—
		○山本 容子（筑波大学人間系）

- 12:10-13:20 昼休憩・東海支部総会
- 座長 平野 俊英（愛知教育大学）
- A07 13:20-13:40 コンピュータによる数学実験を利用した数学的現象の探究の実際－Python や mathematica による整数問題に関する探究を中心に－
○飯島 康之（愛知教育大学）
- A08 13:40-14:00 教育実習事前指導における「算数科授業での障害のある児童の指導方法の検討」に関する一考察
○坂本 雄士（浜松学院大学）
- 座長 大鹿 聖公（愛知教育大学）
- B07 13:20-13:40 教育旅行を活用して科学を学ばせる取り組み
○小西 伴尚・秦 浩之・川田 博基・石井 智也（三重中学校・三重高等学校）・平賀伸夫（青山学院大学）
- B08 13:40-14:00 科学研究体験と映像制作を組み合わせた中学生向け職場体験プログラムの実践と考察－STEAM 教育における科学映像制作活動の活用を目指して－
○倉田 智子（自然科学研究機構 基礎生物学研究所）
- B09 14:00-14:20 動物園が小学校に～全学年が取り組む「1日モンキーデー」の試み～
○高野 智・赤見 理恵（公益財団法人日本モンキーセンター）